

講義名: メディア史 <秋> 曜時1: 火1 担当教員名: 長崎 励朗		ナンバリングコード: COMM2400 曜時2:	
研究室: 聖アンデレ館7階715号室		オフィスアワー: 金曜日5限	
メールアドレス: nagasaki@andrew.ac.jp			
授業形態 『講義』 『アクティブラーニング』			
講義・演習概要 現在、「メディア」と言えばインターネットやテレビが想起されることが多い。しかし、そもそもmediaという単語が「中間」や「媒介」を意味する「medium」の複数形であることから分かるように、情報伝達のために用いられるものは本来、すべてメディアでありうる。本講義では、こうした認識に基づいて様々なメディアの歴史を学ぶとともに、それが社会にどのような影響を与えたか、あるいは逆にどのような社会がそうした技術を求めたのかを考察する。			
学習(到達)目標 メディアについて思考するための基本的な理論枠組みを学んでもらう。			
講義・演習計画			
【第1回】 ガイダンス			
【第2回】 メディアとは何か?—広報・広告・プロパガンダ、そして教育			
【第3回】 メディア論の系譜			
【第4回】 書籍というメディア—焚書が持つ意味			
【第5回】 新聞というメディア—新聞は「権力の番犬」か?			
【第6回】 写真と観光のメディア史			
【第7回】 サイレント映画の誕生—無声映画のシンボル利用			
【第8回】 トーキーと総力戦体制			
【第9回】 日本のラジオ史—「National」ラジオが誕生するとき			
【第10回】 各国のラジオ史			
【第11回】 テレビは教育的か?			
【第12回】 インターネットの誕生—宇宙開発と核開発			
【第13回】 インターネットは民主主義の敵か?			
【第14回】 メディアと宣伝			
【第15回】 まとめ			
成績評価の方法			
試験	100%	レポート	その他
コメント			
テキスト			
著書	佐藤卓己	タイトル	現代メディア史 新版
ISBN	9784000289207	出版社	岩波書店
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献 佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店 その他、授業中に適宜提示するものを自主的に読み込むこと。			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間) 試験前にはノートを見直すことをおすすめします。 また、日常的には、授業の内容を踏まえて自身の周囲にあるものを観察してみること。			
その他備考(担当教員用)			
キーワード			
備考(管理者用) (旧:コミュニケーション論)02~18生統替			